

## スピードスケート界の新星

2月に開幕するバンクーバー冬季五輪まで1カ月足らずとなりました。スキーのジャンプ競技やカーリングなど多くの競技で金メダルを期待していますが、今回特に注目しているのはスピードスケートの高木美帆選手(15)です。

昨年12月に長野市で開かれた五輪代表選考会では、三千メートルで三位に入り、千メートルも三位。千五百メートルでは過去三度の五輪出場経験を持つベテランの田畑真紀選手らを制して優勝し、文句なしの五輪代表入りを果たしました。

しかし、驚くのはスピードスケートだけではないということです。幼稚園からスケートを始めた高木選手ですが、他にも小学2年からサッカーをはじめ、中学校ではサッカー部に所属して北海道大会出場にも貢献したそうです。男子部員と一緒にプレーし、ポジションはFW。男子に当たり負けしないからだの強さでレギュラーを張ってきました。その実力を買われて一昨年には15歳以下の女子日本代表候補合宿にも呼ばれ、サッカーでは将来の「なでしこジャパン」(女子日本代表の愛称)の候補にも挙がる選手なのです。

今後はスケートに専念する方向らしいですが、興味を持ったヒップホップダンスは小1から教室に通い続け、陸上競技では小学校時代に数々の地区記録を塗り替えるなど、多彩なスポーツに取り組んできた環境が、その才能を開花につなりました。

二足どころか何足もの「わらじ」を履き、自分の好きなことに挑戦する高木選手。そのおらかな雰囲気の中で多様な技術を磨くことで、スケートだけでは培えない股(こ)関節やお尻周辺の筋肉が発達し、特にカーブで体重を効率よく足に伝える滑りを可能にしました。

これはスポーツに限ったことではありません。生きていく上で大切な考え方だと思います。自分の進路実現のために今何をすればいいのか……。すでに確固たる目標がある人は、その信じる道を最短距離で進んでいくのもいいですが、高木選手のように多くの経験を積み、様々な世界観に触れ、自分の本当の目標をみつけてほしい。そして夢中になって取り組んだことが自分の進路には直接関係なくても、寛容な人間になるためのステップに繋げてみてはどうでしょうか。(そのために学校では多くの教科を勉強します。勉強以外にも読書や清掃、部活動など世界観を広げるような活動をする時間があります。)

短距離も長距離もこなす「オールラウンダー」で、バンクーバー五輪では3種目に出場予定の高木選手は「すべてが初めての経験なので、学べるものはすべて学んでみたい」と語っています。高木選手のオリンピックでの活躍を期待するとともに、“エクセルシヨー”をモットーにいろいろなことに挑戦し視野を広げ、目標に向かって活躍するみなさんに期待しています。

(1年5組 副担任 M.S.)

## 週行事予定表(1/25~2/9)

月	日	曜	行事予定	備考
1	25	日	第3回読書推進期間(~2/5)	B: 7:25着席
	26	火		B: 7:25着席
	27	水	統一LHR(人権教育)56限45分短縮授業	B: 7:25着席

	28	木		B : 7:25着席
	29	金		B : 7:25着席
	30	土		
	31	日		
2	1	月	第3回清掃強化週間	C : 7:25着席
	2	火		C : 7:25着席
	3	水	全校集会	C : 7:25着席
	4	木	推薦入学選抜検査準備	C : 7:25着席
	5	金	推薦入学検査	C : 7:25着席
	6	土	寿太郎講座	8:20開始
	7	日		
	8	月		A : 7:25着席
	9	火		A : 7:25着席